

## 2018年第2回IEEE Japan Council 理事会 議事録

日時：2018年7月13日（金） 14:00～17:00

場所：まちなかキャンパス長岡 3F 301 会議室

出席者：津田 Chair、尾上 Vice Chair、杉江 Secretary、眞田 Treasurer、  
宮永、亀山、大石、佐藤、鈴木、野田、石橋、山本、浜村  
中西、田中（代理）、藤島、桑原、原崎、  
青山、白川、滝嶋、橋本、西宮、南、西原、福田（敬称略、順不同）

オブザーバ：百武、加藤（景）、宮崎、カワモト、横倉、千田（敬称略）

事務局：加藤（麻）、福岡 幹事会社：田島、柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料（1）
2. 2019/2020年役員選出について【審議】 資料（2）
3. 2018年上期会計報告 資料（3）
4. 新規プロジェクトについて【審議】 資料（4）
5. 常設委員会 活動状況報告 資料（5）
  - 5-1 Chapter Operations Committee
  - 5-2 Student Activities Committee
  - 5-3 Awards Committee
  - 5-4 Industry Promotion Committee
6. Ad-Hoc 委員会 活動状況報告 資料（6）
  - 6-1 Long Range Strategy Committee
  - 6-2 History Committee
7. Affinity Group 2017年活動報告 資料（7）
  - 7-1 Women in Engineering【審議】
8. 各支部活動状況報告 資料（8）
9. JC Coordinator 報告 資料（9）
  - 9-1 MD Coordinator【審議】
  - 9-2 YP Coordinator
  - 9-3 LMAG Coordinator

10. その他

資料 (10)

- 10-1 MGA、MGAARC、及びAB 関連のトピックス
- 10-2 R10 SYWL2018 (インドネシア) について
- 10-3 Japan SYWL について【審議】
- 10-4 JC メール配信ポリシーについて【審議】
- 10-5 国際会議の Technical Co-Sponsorship(TCS) Fee について
- 10-6 GDPR について

議事：

0. 津田 Chair ご挨拶

津田 Chair より開会の挨拶が述べられた。

1. 前回事業会議事録の確認【審議】 資料（1）  
杉江 Secretary より前回事業会（2018年3月開催）の議事録案について説明があり、異議なく承認された。

2. 2019/2020年役員選出について【審議】 資料（2）  
原崎 Nomination Committee Chair より2019/2020年のJapan Council 役員候補者について推薦がなされ、異議なく承認された。

3. 2018年上期会計報告 資料（3）  
眞田 Treasurer より説明があった。収入については、為替のレートが108円となり、当初予測より101%となった。支出については、Coordinator 活動費、予備費（WIE ILS など）の増額の希望がでており本日審議を行う。本日の審議分を加味しても収支は当初の計画通りで推移する見通しである。

4. 新規プロジェクトについて【審議】 資料（4）  
杉江 Secretary より報告があった。Section 支援費について新規提案プロジェクトを募った結果、新たに広島支部と信越支部から申請があった。今までの申請を総計するとおよそ85万円となる。産業界との新たな試みやSB新設などを含めて新規プロジェクトと考えていたが、実際に応募があったのはこの2件である旨、説明があった。以上、2件の申請は異議なく承認された。

5. 常設委員会 活動状況報告

5-1 Chapter Operations Committee 資料(5-1)  
藤島 Chair から報告があった。Chapter 支援費については申請額ではなく実績額で現時点での状況を集計したところ、予算に対して進捗が芳しくないことがわかった。また、Chapter 支援費ガイドラインの補足、改訂を行い、支援費申請書に申請 Chapter の資産残高を記載するようにした。

5-2 Student Activities Committee 資料(5-2)  
杉江 JC Secretary より代理で報告があった。今年の8月7~8日開催予定のSBリーダーシップトレーニングワークショップ（SBLTW2018）の説明があった。また、SB新設の促進、定期的なSB活動への支援、R10 SYWL Congress への支援やJapan SYWL

Workshop と MAW 福岡の共催などについて説明があった。

#### 5-3 Awards Committee

資料(5-3)

桑原 Chair より報告があった。Awards Committee の活動状況、2019 TFA 受賞者（日本から 4 名）、今後の予定が説明された。Awards Committee 委員リストの広島支部、四国支部は変更がある旨、コメントがあった。2019TFA 受賞者の青山理事から受賞に関してコメントがあった。

#### 5-4 Industry Promotion Committee

資料(5-4)

原崎 Chair より報告があった。第 2 回 JC IPC 委員会を開催した。IEEE マイルストーン銘板の管理に関わる情報共有、福田理事も立候補されている President-Elect 選挙の投票率促進、WIE ILS 支援、MAW2018 準備状況、MGA Awards、今後の予定について報告があった。

### 6. Ad-Hoc 委員会 活動状況報告

#### 6-1 Long Range Strategy Committee

資料(6-1)

尾上 Chair より報告があった。Pre-University 向け教育関係リストの作成(4 件,1 件進行中)および各支部への情報共有、新規提案プロジェクトの応募状況(新規 2 件)、Japan SYWL の今後の進め方、WIE-ILS の開催、JC 役員選出プロセス、等の議論についての説明、今後の予定について報告があった。

#### 6-2 History Committee

資料(6-2)

白川 Chair より報告があった。役員体制、本年の JC HC 委員会の広島での開催予定、日本におけるマイルストーン受賞一覧が報告された。

### 7. Affinity Group 活動状況報告

#### 7-1 Women in Engineering Affinity Group 【審議】

資料(7-1)

野田 Chair より報告があった。第 3 回役員会議を実施、仙台 WIE 記念講演会、男女共同参画に関する懇談会へ参加した。WIE ILS 2018 Tokyo の開催準備状況について説明があった。実施計画の見直しに伴い ILS2018 への JC からの支援増額の審議依頼があり了承された。

## 8. 各支部活動状況報告

### 8-1 札幌支部

資料(8-1)

宮永 Chair より報告があった。総会、第1回理事会を開催し、第2回理事会を10月に計画している。また、今後、若手研究者や学生向けの表彰事業を計画している。各種講演会の主催・共催として、講演会3件、WIE講演会2件が報告された。

### 8-2 仙台支部

資料(8-2)

亀山 Chair より報告があった。新 Fellow 記念講演会(2名)の実施、特別講演会の計画、SAC活動・イベント、WIE設立・活動支援について説明があった。資料の訂正があり、p51の「2017-2018Sendai Section 運営体制」を「2018-2019Sendai Section 運営体制」に訂正する。

### 8-3 信越支部

資料(8-3)

大石 Chair より報告があった。活動報告として、第1回支部役員会の開催、R10 Meetingへの参加、IEEEセッションの開催、学生への国際会議の奨励賞、Student Branch Startup Meeting を本日開催したことが報告された。

### 8-4 東京支部

資料(8-4)

佐藤 Vice Chair より報告があった。第2回理事会、支部総会、支部主催講演会(4件)、SBの活動、Affinity Group 活動(YP、LMAG)を実施した。また、12月1日に東京支部 YP 設立10周年イベントを行うとの報告があった。

### 8-5 名古屋支部

資料(8-5)

石橋 Chair より報告があった。役員会・理事会、LMAG講演会、WIE設立に向けた準備、青色LED(豊田合成)のMilestone申請を進めていること、表彰事業、研究会等の実施が報告された。

### 8-6 関西支部

資料(8-6)

山本 Chair より報告があった。第3回理事会、開催支部主催講演会、次期役員体制について、Committee を設立し検討を開始したことが述べられた。

### 8-7 四国支部

資料(8-7)

浜村 Chair より報告があった。第1回役員会、講演会、シンポジウム道後2018の開催、各Committee活動について報告があった。

8-8 広島支部 資料(8-8)

中西 Chair より報告があった。総会を開催し、特別講演会、学生向け講演会を実施した。国際会議(ISMAC)、信学会のシンポジウム(MWP Symposium)、広島支部学生シンポジウム(HISS)、設立 20 周年記念シンポジウムを計画している。

8-9 福岡支部 資料(8-9)

田中 Treasurer より代理で報告があった。MAW 福岡の開催日程と会場、MAW の実行委員会、Japan SYWL との共催と Authorship Workshop、予算について報告があった。

## 9. JC Coordinator 報告

9-1 MD Coordinator 【審議】 資料(9-1)

橋本 MD Coordinator から報告があった。第 1,2 回 JC MD WebEx 会議を実施した。各支部 MD Chair 間のコミュニケーションを図り、課題とベストプラクティスを共有した。今後は MD Chair メンバ間でのメールによる意見交換を進め、F2F 会議の開催を進める。F2F 会議（東京開催）を開催する場合の JC からの費用サポートについて審議を行い、了承された。

9-2 YP Coordinator 資料(9-2)

西宮 YP Coordinator から報告があった。東京 YP 活動、名古屋 YP 活動、関西 YP 活動について説明があり、R10 SYWL Congress への参加準備状況について報告があった。

9-3 LMAG Coordinator 資料(9-3)

青山 LMAG Coordinator より報告があった。IEEE 全体で考えると、R10 は Life Member の割合が少ないが、R10 のなかでは日本がほとんどであり、着実に数が増えている。今後、仙台、福岡等での LMAG の発足を期待している。また、4 月に開催された全 Region 参加の Life Member Committee の報告があった。LMC Task Force の設置提案、Fellowship の改案、R5 における”Stepping Stone Award”設置、Tokyo LMAG の Awards 応募結果、IEEE 及び R10 への LMAG 活動費申請について報告された。

## 10. その他

10-1 MGA、MGAARC、及び AB 関連のトピックス 資料(10-1)

南理事より報告があった。MGA Awards2 件の受賞者は近日に公開される予定であること、Friend of IEEE MGA Award への日本からのノミネーションについて報告があった。また、日本における企業からの Section、Council 活動のサポートの状況が報告さ

れた。さらに、MGA 関連として Committee Member の Call for Nomination、AB 関連の Awards のアナウンスが報告された。

10-2 R10 SYWL2018 (インドネシア) について 資料 (10-2)  
杉江 Secretary より報告があった。日本全体で 20 名のレジストレーションがあった。

10-3 Japan SYWL について【審議】 資料 (10-3)  
杉江 Secretary より審議依頼があった。本イベントの継続的な開催を行うため、JC に準備委員会を設立することとしたい。準備委員会の主な構成メンバを JC-YP Coordinator、JC-LMAG Coordinator、JC-WIE、JC-SAC、JC Secretary とし、開催の決定と実行委員会の設立を行う。企画については、費用など実施規模が確定後に理事会承認を得て実施することとする。Japan SYWL Workshop2018 の企画書について、西宮 YP Coordinator から説明があった。  
支部へは強制ではないこと、支部と JC の合意の下で進めるという条件のもとで、本審議事項については異議なく了承された。

10-4 JC メール配信ポリシーについて【審議】 資料 (10-4)  
杉江 Secretary より、JC のメール配信が IEEE 本部の eNotice を使用することに伴い、現在の配信規定を更新するため審議依頼があった。基本方針として本部メール配信システム (eNotice) の使用で一本化する。配信ポリシーについては、IEEE 本部のメール配信ポリシーに従うこととする。JC からの配信に関しては Japan Council 役員、Chapter 役員の承認を得ることとする。また、各支部での配信は、各支部役員、各支部 Chapter 役員の承認を得ることとする。

以上、異議なく了承された。

10-5 国際会議の Technical Co-Sponsorship(TCS) Fee について 資料 (10-5)  
杉江 Secretary より MGA BoD での方針決定について報告があった。IEEE Geo Unit と TCS を締結している国際会議は 1,000 ドルに加え、IEEE Xplore 掲載費として 15 ドル/Paper の費用負担を行う。なお、Xplore に掲載しない場合でも、定額 1,000 ドルを負担することとなった。

10-6 GDPR について 資料 (10-6)  
杉江 Secretary より、GDPR の適用対象及び IEEE での対応について報告があった。

以上

**【配布資料】**

- ・JC 主要イベントカレンダー

**【補足】**

理事会終了後同会場にて、信越支部との意見交換会を行い、その後長岡グランドホテルにて懇親会が開催された。

**【2018年第2回 IEEE Japan Council 理事会 集合写真】**

